



# だんぼ通信

平成28年12月1日発行



## ～災害時支援を考える～ 交流会



太宰府市NPO・ボランティア支援センター「うめさろん」と、太宰府市社会福祉協議会の共催、防災ボランティアネットワーク協力のもと、11月26日(土)「～災害時支援を考える～交流会」を総勢28名で行いました。

「いつどこで災害が起こるか分からない昨今。いざという時に立ちあがる【災害ボランティアセンター】がスムーズに動きだせるように、様々な専門知識や技術を持っている人たちと繋がっていく。そして太宰府市の中で、災害ボランティアネットワークをこれから作っていくのが、この交流会の目的のひとつです。」このように、うめさろんコーディネーターの原田さんが趣旨説明を行いました。

全12団体の代表者から、各団体の日頃の活動、太宰府市で災害が起きた時にどんな事ができると思われるか、今までに被災地での活動経験があるか…。この3点を中心に団体の紹介をしていただきました。一般参加者の方を含め、10代から70代まで幅広い年齢層の参加者と、災害時支援を考える第一歩となりました。交流タイムでは、寄付で戴いたお茶とお菓子をいただきながら、あちらこちらで情報交換が行われ、話が弾んだ交流会でした。



**第2回の交流会の日程が決まりましたら、だんぼ通信やHPでお知らせします！**

# 「子ども食堂」って何？

今、「子ども食堂」が全国的に増えているそうですね。これは、いろんな事情で、おなかをすかせている子どもや、一人ぼっちで食事をしている子どもを支えよう！という、地域の人たちによる、子どもの居場所づくりのひとつです。



参加する子どもは無料や低料金でごはんを食べたり、みんなでゲームなどを楽しんだりします。空腹を満たすだけではなく、人とふれあい、あたたかい気持ちになって家に帰って行ってほしい…そんな場所です。太宰府市でも7月・8月に2つの団体が初めて子ども食堂を実施しました。たくさんの方々の協力で実現しましたが、まだまだ手探りで試行錯誤中…。食材の確保やボランティアで活動してくれる人の調整。そして子ども食堂にやってくる子どもたちが、気軽に参加できる環境づくり、このイベントの告知の仕方など、課題は山積みです。でもいろいろな立場の人たちが知恵を出し合って、よりよい子ども食堂が実現するといいですね!!



## 「子ども食堂」のボランティア活動体験より

10月16日(日)いきいき情報センターで行われた、太宰府いきいき子ども食堂主催の「子ども食堂」の活動に、ボランティアで参加してきました。

この「子ども食堂」は、子どもたちだけではなくみんなが楽しめる場だと強く感じました。きっと、何人もの人が同じテーブル・同じ食事・同じ環境にいと、自分が大家族になった気分になり、楽しいと感じるんじゃないかなと思いました。私も自然とそんな気持ちになったし、周りの皆さんも表情がとても明るかったです。

だから「子ども食堂」を、もっと色々な人に知ってもらいたいし、私も開催する側にまわりたいと思いました。たくさんの体験ができたボランティア活動でした。ありがとうございました。

筑陽学園高等学校 鎌田 恭歌





# 講座スケジュール



日時	場所	講座名	講師など	参加費
12/3(土) 14:00~16:00	201号室	カウンセリング基礎講座 「他人の援助を通じ成長しよう」	吉田 久美子	100円
1/8(日) 13:00~16:00	208号室	ライフサポートあんしん講座 「相続手続きの概要と相談先について」	行政書士 藤原 正久	無料
2/4(土) 14:00~16:00	201号室	カウンセリング基礎講座 「まとめ」(フィードバック実習)	吉田 久美子	100円

## ご存知ですか？

## 太宰府市民遺産



平成28年3月13日、第6回太宰府市景観・市民遺産会議が開催され、新たに『太宰府悠久の丘—メモリアルパークからの眺望—』が市民遺産第12号に認定されています。

太宰府の歴史や文化の向上に貢献することを目的とし、各種文化事業や園内眺望スポット等の環境整備を実施しています。季節や時刻によって異なる眺望を、見に行ってみませんか。



太宰府悠久の丘からの眺望

申し込み・問い合わせは 「うめ❀さろん」太宰府市NPO・ボランティア支援センターまで

太宰府市五条3丁目1番1号 いきいき情報センター 2階

平日 10:00~18:00 土曜日 12:00~18:00

(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、

8月13日~15日、12月28日~1月4日)

電話 092-918-3633 ファックス 092-918-3644

E-mail : dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

HP <http://dazaifu-volusen.sakura.ne.jp/>



# 点訳ボランティア 太宰府てんとう虫の会

私たちは、視覚障がい者のために広報紙、書籍、新聞などを点字に置き換える作業（これを点訳と言います）をボランティア活動として行っています。



例会の様子

会の名前の由来は、視覚障がい者のお心に灯を灯す（てんとう）等から「太宰府てんとう虫の会」という名前になりました。結成以来 15 年、会員も 16 名と徐々に増加し、太宰府市社会福祉協議会や福岡高等視覚特別支援学校からの依頼品の点訳に励んでいます。

視覚障がい者にとって指で触れる文字である点字は、生活の中での情報を得る手段として大切なものです。情報を正確に、迅速にお伝えするために活動しています。最近は太宰府市内全小学校 4 年生を対象に点字の普及活動も行っています。

毎週木曜日午前 10 時から午後 3 時まで、社会福祉協議会の一室をお借りして、例会を行っています。少しでも活動に興味をお持ちの方はぜひお出かけ下さい。



小学校の総合学習の時間にて点字の授業

経験の有無も問いませんし、見学だけでもOKです。まずは、お気軽に社会福祉協議会(電話:092-923-3230)までお問い合わせ下さい。皆様のお越しをお待ちいたしております。

会長 西村 直大